

# ぽっかぽか



天間幼稚園  
園長だより  
第 3 号  
令和4.7.5



## 「辛い」気持ちを「幸せ」に変える一本線

令和4年度が始まって、3カ月が過ぎました。年少ちゅうりっぷ組の子どもたちは、幼稚園生活にも慣れ、自分から進んでかばんのしたくをしたり、着替えをしたりすることができるようになりました。また、友達とも譲り合って仲良く遊ぶ姿も見られるようになりました。できるようになったことを自慢気に表情に表したり、話に来たりする姿を見ていて、とても微笑ましい気持ちになり、元気をいただいています。

年中ばら組の子どもたちは、先日の保育研修会で講師の先生に大変お褒めの言葉をいただきました。先生の一言一言にしっかり耳を傾けることはもちろんですが、1日の生活のリズムを自分から気づき、声をかけあって創り出そうとする姿が見られ、その落ち着いた活動の様子から、年少からの積み上げの大切さを実感しました。

年長すみれ組の子どもたちは、ちゅうりっぷ組やばら組のぽっかぽかの友だちのこと考えて優しく声をかけたり、注意したりして、天間幼稚園のお兄さんお姉さんとしての振る舞いがとても素敵です。また、いつも元気ないっぱいの子どもたちですので、先日のC-STARスタジオのチアダンス教室でも、1時間もの間、体を精一杯使って踊り続け、一つのプログラムを完成させてしまいました。そんなすみれ組の子どもたちを頼もしく感じるとともに、それぞれの学年のこれからの成長が尚一層楽しみになってきています。

さて、詩人で画家の星野富弘さんの詩の中に次のような一節があります。

「<sup>つら</sup>辛い という字がある もう少しで <sup>しあわ</sup>幸せ になれそうな字である」

「辛」という文字に「一」(一本線)を加えると、確かに「幸」という文字になります。ただ、その一本線をどのように理解していくかが大切だと思います。私は、その“一本線”とは一人ひとりの「心のもち方」だと思います。子どもたちも私たち大人もときどき失敗をします。その時は辛い気持ちにもなります。しかし、その時こそ学びのチャンス、新たな対応の仕方を知るチャンスなのだと思います。世の中で活躍されている方々の話を聞くと、成功から学ぶことよりも、失敗から学ぶことの方がはるかに多かったと言います。

失敗した時こそ、感情的にならず、なぜ失敗してしまったのか親子で冷静に考える時間を持ってほしいと思います。その時間を丁寧に持つか持たないか、そのたった一つの「心のもち方」が、辛さを幸せに変える鍵だと思います。

子どもたちの笑顔と幸せのため、幼稚園・家庭・地域の多くの皆様の手で子どもたちを支え、「一本線」を加えていただきますよう、今後ともどうぞよろしく願いいたします。

花を支えている枝  
枝を支えている幹  
幹を支えている根  
根は見えないんだな。  
相田みつを



どのような美しい花も枝や幹や根に支えられています。

特に、根のように、見えないところは、最も大切で、心のもち方、前向き思考もその一つだと思います。

## 子育てポイント

子どもは、親の喜ぶ顔を見たいと思っている。  
笑顔を見たい、喜ばせたいと思っている。  
また、悲しむ顔を見たいとは思っていない。  
笑顔を見たい、悲しませたくないと思っている。 だから、

誉めるというよりも、がんばりや素敵な心を喜びたい。  
怒るというよりも、行為や不誠実な心を悲しみたい。

「○をあげるからがんばりな! △したら、○をあげないよ!」  
は子どもの心の成長にはつながりません。プレゼント等もがんばりや素敵な心を認め、喜ぶ一つの手段としてあるのだと思います。

I (私)メッセージで子どもと接しましょう。



# 一秒の言葉

小泉吉宏

「はじめまして」 この一秒ほどの短い言葉に  
一生のときめきを感じることもある

「ありがとう」 この一秒ほどの短い言葉に  
人の優しさを知ることがある

「がんばって」 この一秒ほどの短い言葉に  
勇気がよみがえってくることもある

「おめでとう」 この一秒ほどの短い言葉に  
幸せにあふれることがある

「ごめんなさい」 この一秒ほどの短い言葉に  
人の弱さを見ることがある



「さようなら」 この一秒ほどの短い言葉が  
一生の別れになるときがある

一秒に喜び 一秒に泣く 一生懸命 一秒

私の大好きな詩です。

人と人とのつながりは、この挨拶から始まるのだと思います。

「笑顔」と「挨拶＋何か一言」を大切にしていきたいと感じています。

人格  
あなたの  
言葉  
あなたの